

# ArcGIS

ArcGIS Runtime SDK for WPF  
日本語化スタイル適用手順書  
(v10.2.5)

## 目次

<b>はじめに.....</b>	<b>1</b>
日本語化スタイルおよび適用手順書について.....	1
WPF のスタイルとは .....	1
日本語化スタイルの使用上の注意点 .....	1
日本語化スタイルの動作確認済み API ライブラリのバージョン.....	2
<b>コントロールへの日本語化スタイルの適用方法.....</b>	<b>3</b>
前提条件.....	3
コントロールの日本語化手順.....	3
日本語化スタイル ファイルとコントロール対応表 .....	9

## はじめに

### 日本語化スタイルおよび適用手順書について

この日本語化スタイル適用手順書は ArcGIS Runtime SDK for WPF の ESRI.ArcGIS.Client.Toolkit ライブラリに含まれている 6 つのコントロール (AttachmentEditor, Bookmark, EditorWidget, FeatureDataGrid, Navigation, SignInDialog) を、スタイルを用いて日本語化する手順を紹介します。

#### WPF のスタイルとは

WPF ではスタイルを使用することで、コントロールの外観や動作表現を変更することができます。本手順書では、このスタイルを利用して、ArcGIS Runtime SDK for WPF のコントロールを日本語化します。本手順書を実行する前に、以下のような Microsoft の MSDN ライブラリなどを参照し、スタイルについて理解しておくことをお勧めします。

- MSDN ライブラリ : コントロール (WPF : .NET Framework 4)

[http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/vstudio/bb613551\(v=vs.100\).aspx#changing\\_the\\_appearance\\_of\\_a\\_control](http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/vstudio/bb613551(v=vs.100).aspx#changing_the_appearance_of_a_control)

#### 日本語化スタイルの使用上の注意点

この手順書および日本語化スタイルは、ESRI ジャパンよりサンプルとして提供されており、製品としての動作保障や技術サポートを行っているものではありません。スタイル作成時には動作確認を行っていますが、本番環境への実装等に向けた十分な検証は行っていないため、予期せぬ動作や問題が発生する可能性もあります。提供されるサンプルコードに関連して発生したいかなる影響に関しても、ESRI ジャパンは責任を負いかねますので、ユーザー様の責任のもと十分な動作検証を行って頂いた上で利用して頂く必要があります。

## **日本語化スタイルの動作確認済み API ライブラリのバージョン**

現在、本手順書とともに提供されている日本語化用スタイルは、ESRI ジャパンのテスト環境において、以下の ArcGIS Runtime SDK for WPF のバージョンにおいて動作確認済みです。

- ArcGIS Runtime SDK 10.2.5 for WPF
- ArcGIS Runtime SDK 10.2.3 for WPF
- ArcGIS Runtime SDK 10.2.2 for WPF
- ArcGIS Runtime SDK 10.2 for WPF

# コントロールへの日本語化スタイルの適用方法

## 前提条件

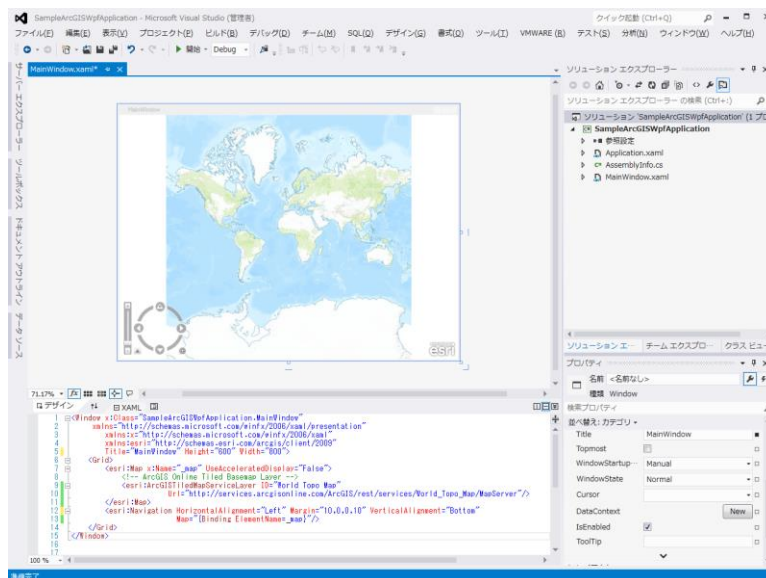
コントロールに日本語化スタイルを適用する前に、ArcGIS Runtime SDK for WPF のライブラリが入手済みであり、WPF アプリケーションプロジェクトに追加されている必要があります。

## コントロールの日本語化手順

以下では、Visual Studio 2012 で作成した WPF アプリケーション プロジェクトにおいて、ESRI.ArcGIS.Client.Toolkit.dll に含まれる Navigation コントロールを日本語化する例を紹介します。本手順書では Visual Studio 2012 を使用しますが、Visual Studio 2010 や Visual Studio 2013 で作成した WPF アプリケーション プロジェクトにおいても、同様の手順でコントロールを日本語化することが可能です。

※ 以下の手順では、すでに Map コントロールと Navigation コントロールが追加された WPF アプリケーション プロジェクトに対して日本語化を行います。

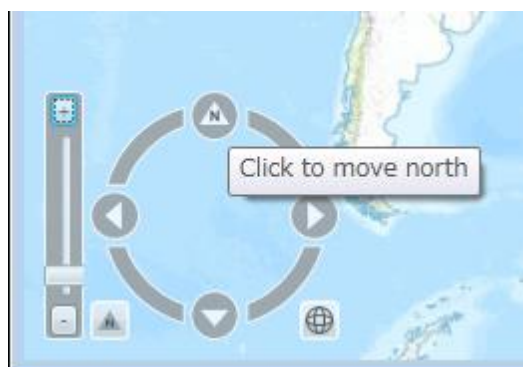
1. ローカライズを行うプロジェクトを開きます。



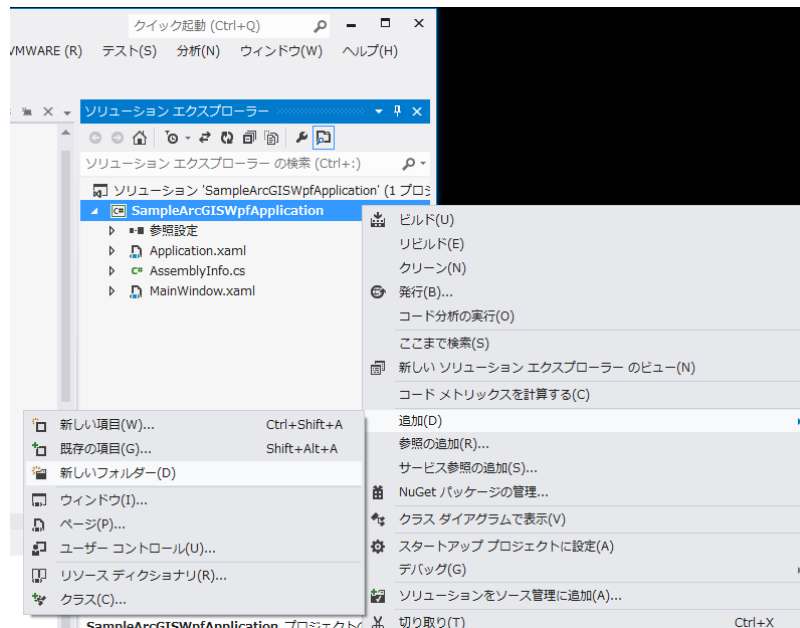
2. アプリケーションが正常に実行できることを確認します。



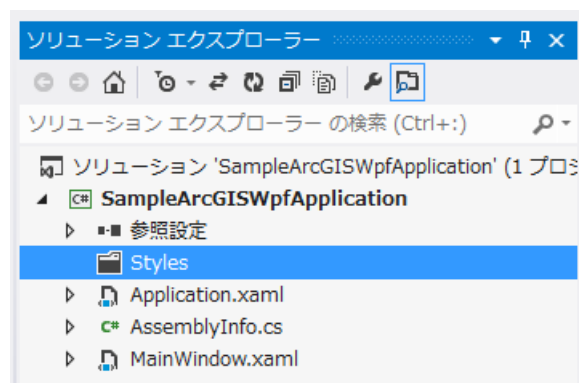
3. 日本語化されていない Navigation コントロールの場合、ツールチップは英語で表示されます。



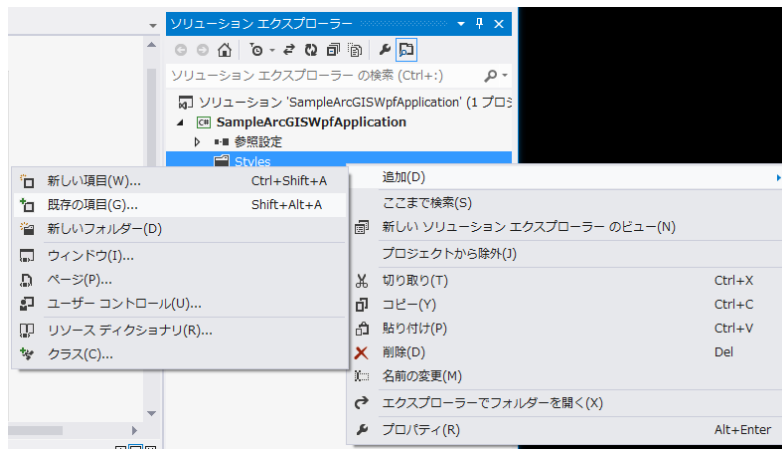
4. アプリケーションを停止し、Visual Studio のソリューション エクスプローラーから WPF アプリケーション プロジェクト (以下の例では、SampleArcGISWpfApplication プロジェクト) を右クリックし、[追加(D)] → [新しいフォルダー(D)] を選択します。



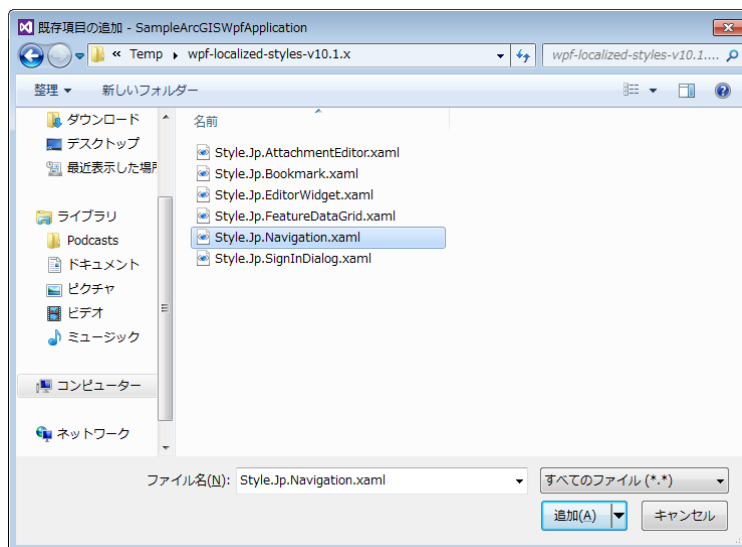
5. 追加されたフォルダーの名称を「Styles」に変更します (このフォルダーの名前は任意に変更することができます)。



6. 手順 5 で作成した Styles フォルダを右クリックし、[追加(D)] → [既存の項目(G)] を選択します。



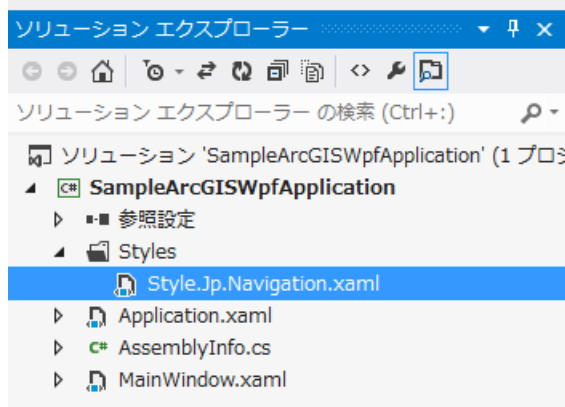
7. ダウンロードして解凍した日本語化スタイル ファイルを含むフォルダに移動し、「Style.Jp.Navigation.xaml」を選択して [追加(A)] をクリックします。





## 8. プロジェクトにスタイルが追加されたことを確認します。

※ 複数のコントロールを日本語化する場合は、上記手順 6, 7 を繰り返して必要なファイルをすべて追加します。



※ 各コントロールに日本語化スタイルを適用するためには、各コントロールを XAML ビュー側で追加しておく必要があります。

## 9. Application.xaml を開き以下のコードを &lt;Application.Resources&gt; タグ内に記述し、スタイルをアプリケーションのリソースに設定します。

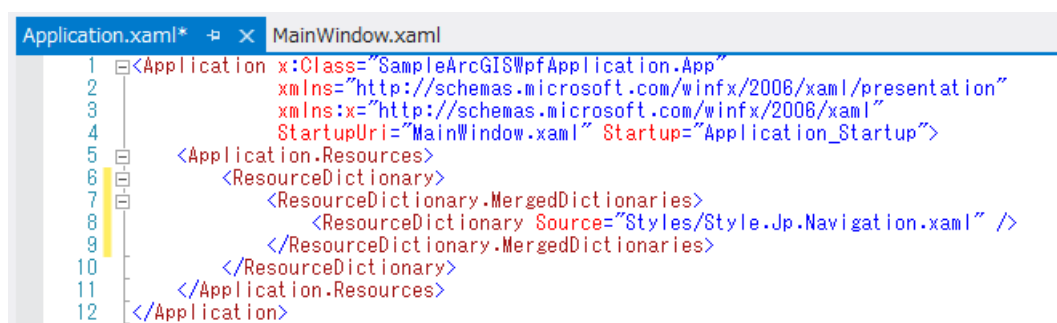
```
<ResourceDictionary>

    <ResourceDictionary.MergedDictionaries>

        <ResourceDictionary Source="Styles/Style.Jp.Navigation.xaml" />

    </ResourceDictionary.MergedDictionaries>

</ResourceDictionary>
```



アプリケーション内で使用する複数のコントロールをローカライズする場合は、以下のように `<ResourceDictionary.MergedDictionaries>` タグ内にスタイル ファイルへの参照を複数行記述します。

```
<ResourceDictionary>
  <ResourceDictionary.MergedDictionaries>
    <ResourceDictionary Source="Styles/Style.Jp.Navigation.xaml" />
    <ResourceDictionary Source="Styles/Style.Jp.Bookmark.xaml" />
  </ResourceDictionary.MergedDictionaries>
</ResourceDictionary>
```

10. MainWindow.xaml もしくはローカライズするコントロールが記述されているファイルを開き、Navigation コントロールのスタイルを以下のように定義します。

```
Style="{StaticResource ResourceKey=Navigation_JP}"/>

<esri:Navigation HorizontalAlignment="Left" Margin="10,0,0,10" VerticalAlignment="Bottom"
  Map="{Binding ElementName=_map}"
  Style="{StaticResource ResourceKey=Navigation_JP}"/>
...
```

11. アプリケーションを実行し、Navigation コントロールが日本語化されていることを確認します。



※ 本手順書の例では、ダウンロードした日本語化スタイル ファイルをソリューションに追加して参照する方法を用いていますが、日本語化を行うコントロールのリソースとしてスタイルが参照可能であれば、どのような方法でソリューションにスタイルを追加して頂いても問題ありません。例えば、コントロールの親要素のリソースに直接、日本語化スタイル ファイルの内容を記述することができます。WPF のスタイルの詳細については、[「WPF のスタイルとは」](#)の内容をご確認ください。

## 日本語化スタイル ファイルとコントロール対応表

本手順書では、日本語化の例として Navigation コントロールを日本語化する手順を紹介しましたが、その他のコントロールを日本語化する場合も同様の手順を使用することができます。コントロールと日本語化スタイル ファイルおよびスタイル ファイルを参照するためのリソース Key の対応は下記の通りです。

コントロール名	スタイル ファイル名	リソース Key
AttachmentEditor	Style.Jp.AttachmentEditor.xaml	AttachmentEditor_JP
Bookmark	Style.Jp.Bookmark.xaml	Bookmark_JP
EditorWidget	Style.Jp.EditorWidget.xaml	EditorWidget_JP
FeatureDataGrid	Style.Jp.FeatureDataGrid.xaml	FeatureDataGrid_JP
Navigation	Style.Jp.Navigation.xaml	Navigation_JP
SignInDialog	Style.Jp.SignInDialog.xaml	SignInDialog_JP

# **ArcGIS Runtime SDK for WPF 日本語化スタイル適用手順書（v10.2.5）**

2015 年 2 月 27 日

ESRI ジャパン株式会社

<http://www.esrij.com/>

Copyright(C) Esri Japan. 無断転載を禁ず

本書に記載されている社名、商品名は、各社の商標および登録商標です。

本書に記載されている内容は改良のため、予告なく変更される場合があります。

本書の内容は参考情報の提供を目的としており、本書に含まれる情報はその使用先の自己の責任において利用して頂く必要があります。

